



新春座談会の会場は津山洋学資料館の図書室。洋館の雰囲気漂う会場で座談会は終始、和やかに行われました

市制アドバイザー制度
津山市にゆかりがあり、全国で活躍されている人に専門的知識や経験に基づいた提言をいただくため平成18年に設置した制度



津山に人を呼ぶための有効な情報発信を



学校法人 佐藤栄学園関連
教育旅行センター 会長兼CEO
清水 克之輔さん

清水 建国1300年記念事業を戦略的に進めていくためには、市民に周知するものと、市外の人を呼び込むためのPRとを分けて考える必要があります。このPRもできるだけ早くから始めて、さまざまな広報媒体を活用しなければなりません。特にブログやホームページなど、インターネットでの情報発信は重要です。また、情報発信だけでなく、コンテストなどでアイデアをもらうことも良いでしょう。

5月22日にオープンする東京スカイツリーは今、大変な注目を浴びています。このスカイツリーに設置される「江戸一目図屏風」を関連付けて、津山をアピールすることは大きな宣伝効果が期待できます。もちろんそのためには戦略も重要です。例えば、津山さくらまつりやスカイツリーのオープンに合わせ期間限定で実物の「江戸一目図屏風」を公開し、各報道機関などに取り上げてもらうということが考えられます。いずれにしても情報発信をどのように行うかが問題なのです。

杉山 美作国は1300年前、大和朝廷の意図でつくられました。これからは市民がまちをつくらせていく時代です。そのために市民が描くまちづくりと事業のビジョンを語り合い、良いアイデアを実行することが大切です。記念事業を実施するにあたっては、ぜひ、津山市が関係市町村の中心となって進めてほしいです。

一つのアイデアとして、関係市町村の中学生1300人が出雲街道を奈良まで歩いて行くというのはどうでしょう。そして、奈良からも1300人の人に来てもらい、美作三湯を巡っても例えば、他都市との交流とまちのPRができて良いと思います。また、鶴山公園で市民1300人がベートーベンの交響曲第9番を演奏し、合唱するのも面白いですね。どのような事業を行うにしてもPR活動は重要です。関係市町村が協力し合って予算を捻出し、東京でPRを行えば大きな効果が生まれると思います。

100年かけても津山城 天守閣の復元を



岡山大学
キャリア開発センター 教授
杉山 慎策さん

宮地 市政を進めていくに上では、さまざまな目線から考えることが必要です。特に、市民目線は重要だと考えています。

美作国建国1300年記念事業は、美作地域全体が全国へ向けて一斉にPRできるチャンスです。このチャンス

を最大限に生かすためには関係自治体が一丸となって取り組んでいかなければなりません。今のところは、事業に対する各自自治体の取り組みに温度差があると感じています。今後、必要であれば津山市が中心となって進めていかねばならないと考えています。

津山城天守閣の復元については、厳しい財政状況ですが、建設に掛かる費用を試算して、市民の皆さんともよく議論したいと思っています。そして、例えば市制施行100周年を機に、復元に向けて取り組んでいきたいと考えています。

さまざまな目線、特に市民目線が重要



津山市長
宮地 昭範

駅前前の衰退については、わたしも危機感を感じています。何とかして賑わいを取り戻す政策を行っていきたくと考えています。まちなかに賑わいを取